

チュー！リップ新聞 第3号

眞一郎、乃絵、比呂美の 三角関係の行方は？



©2008 true tears製作委員会／イラスト：関口可奈味

乃絵の恋心に気づき、彼女の思いにほだされるように告白した眞一郎。ところが数日後、比呂美と純が事故を起こした現場に駆けつけた眞一郎は、かたわらに乃絵がいることも忘れて比呂美を抱きしめてしまう。そんな眞一郎の姿を見て、彼の心の底には比呂美がいることに気づいてしまう乃絵。一方、比呂美は眞一郎に抱きしめられたことで、彼への気持ちを素直に受け止められるようになっていく。そしてこの事件のあと、一人暮らしをすると決めた比呂美が仲上家から去つていくのを見て、ついに眞一郎も比呂美に自分の想いを告白する。

では、これで眞一郎と乃絵、比呂美の三角関係に決着がついたのかと問われれば、答えは否である。なぜなら眞一郎が乃絵との関係を解消し、比呂美と新たな関係を築くための第一歩を踏み出していないからだ。眞一郎が乃絵に恋心を抱いておらず、心底ではずっと比呂美を求めていたことはこれまでの話の中で明らかなのに、何故彼はいまに積極的な行動に出ないのだろうか？

その原因のひとつは、彼自身が抱える問題にあるのかもしれない。事故をきっかけに眞一郎の母親と和解し、眞一郎との兄妹疑惑も晴れた比呂美は、これまで抱えていた問題を一気に解決してしまった。だからこそ彼女は、全身全霊を眞一郎との恋に打ち込める状態にある。

ところが眞一郎は乃絵と約束した絵本を描き上げる中途がついていないし、麦端踊りを周囲が期待するように立派に踊れる自信もない。その自信のなさが比呂美に対する自信のなさに繋がっているように思える。それでもうひとつは、乃絵に対する懸念、気がかりだろう。眞一郎は乃絵に恋心は抱いていないものの、放つておけない何かを感じているように見える。それが、その気もないのに告白してしまった罪悪感なのか、絵本の続きをなかなか描いてやれない気後れなのかはわからない。だが、乃絵のことを探していることは確かだ。

まだまだ予断を許さない「true tears」の人間関係。眞一郎と比呂美、そして眞一郎と乃絵の関係はどのような形で決着するのだろうか？